



報道関係者 各位

新型インフルエンザによる重症例の発生について

10月6日、東京都より、新型インフルエンザによる重症例の発生について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

平成 21 年 10 月 6 日
東京都感染症対策本部
福祉保健局

新型インフルエンザに関する東京都の対応等について(第212報)

(新型インフルエンザによる重症例の発生について)

平成 21 年 10 月 6 日、都内保健所から、新型インフルエンザによる脳炎および重症肺炎のため人工呼吸器を装着した患者の報告がありましたので、当該事例の概要等につき、以下のとおりお知らせします。

【1例目:概要】

患者は、都内在住の 5 歳男児。平成 21 年 10 月 2 日より発熱、咳そうが出現し、10 月 3 日、40℃まで体温上昇を認め、近医を受診した。インフルエンザ迅速キットで A 型陽性となったため、タミフルを処方されたが、帰宅後、嘔吐、意識障害が出現し、都内医療機関に救急搬送された。痙攣も認め、頭部 CT 検査から脳炎が疑われ入院となり抗痙攣薬等の投与を開始したが、血圧低下、呼吸不全が出現し、同日夜に人工呼吸器を装着された。10 月 5 日に遺伝子検査を実施し、新型インフルエンザが確定し、10 月 6 日急性脳炎の届出がなされた。

気管内挿管にて人工呼吸器装着中。現在、体温 36.3℃、昇圧剤投与中。基礎疾患なし。

【2例目:概要】

患者は都内在住の 7 歳男子。平成 21 年 10 月 3 日より咳そうが出現し、10 月 4 日、40.5℃の発熱で近医を受診したところ、インフルエンザ迅速キット陰性だったが、胸部エックス線写真上、肺炎を認め、都内医療機関を紹介され、同日入院となった。インフルエンザを疑いタミフルの内服を開始したが、呼吸状態が悪化し、10 月 5 日、人工呼吸器を装着した。遺伝子検査を実施し、10 月 6 日新型インフルエンザが確定した。

気管内挿管にて人工呼吸器装着中。体温 38.0℃。抗生物質を投与中。基礎疾患なし。

【3 例目：概要】

患者は都内在住の15歳男子。平成21年10月2日、38.0℃の発熱が出現し、近医を受診しインフルエンザ迅速キットA型陽性となり、リレンザの処方を受けた。自宅で療養していたところ、10月4日早朝、痙攣と意識障害が出現し、都内医療機関へ救急搬送された。髄膜刺激症状があり、頭部CT検査で脳浮腫を認めたため、脳・髄膜炎の疑いで集中治療室に入院し、抗けいれん薬、支持療法を開始し、タミフル投与も行った。10月6日遺伝子検査で新型インフルエンザが確定し、急性脳炎の届出がなされた。

現在、集中治療室で治療継続中。体温36.0℃。意識状態は会話ができるまで改善し、容態は安定している。基礎疾患なし。